

環境農林水産常任委員会資料

令和元年10月10日

農 政 水 産 部

目 次

I 予算議案

議案第32号 令和元年度宮崎県一般会計補正予算（第3号）	1
（別途配布の議案P1）	

I 予算議案

議案第32号 令和元年度宮崎県一般会計補正予算(第3号)

(1) 歳出予算課別集計表

(単位：千円)

会計名	課名	令和元年度			平成30年度		
		補正前の額	補正額	補正後の額	当初予算額	最終予算額	
		A	B	C=A+B			
一 般 会 計	農政企画課	1,657,510		1,657,510	1,552,268	1,493,336	
	農業連携推進課	1,823,838		1,823,838	1,868,516	1,789,030	
	農業経営支援課	5,355,848		5,355,848	5,483,492	5,013,801	
	農産園芸課	3,046,256		3,046,256	2,414,459	1,907,054	
	農村計画課	3,425,330		3,425,330	5,528,984	5,337,032	
	農村整備課	14,401,540		14,401,540	12,660,763	14,122,774	
	水産政策課	1,806,314		1,806,314	1,706,607	1,624,338	
	漁村振興課	4,512,601		4,512,601	3,448,477	3,325,027	
	畜産振興課	5,406,388		5,406,388	4,578,110	3,941,604	
	家畜防疫対策課	420,966	701,772	1,122,738	592,431	585,037	
	合計	41,856,591	701,772	42,558,363	39,834,107	39,139,033	
特 別 会 計	沿岸漁業 改善資金	水産政策課	246,764	0	246,764	204,933	193,843
	合計	246,764	0	246,764	204,933	193,843	
農政水産部計		42,103,355	701,772	42,805,127	40,039,040	39,332,876	

令和元年度9月追加補正事業説明資料

事業名	アフリカ豚コレラ等緊急総合対策事業	新規・改善・既定	課名	家畜防疫対策課
		国庫・(県単)		
<p>1 事業の目的</p> <p>アフリカ豚コレラ及び豚コレラの感染要因とされる野生イノシシの農場への侵入防止対策を講じるなど、緊急かつ総合的な防疫の強化を行い、県内での発生を防止する。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 補正額 701,772千円</p> <p>(2) 補正理由 アフリカ豚コレラ等緊急総合対策に伴う補正</p> <p>(3) 事業期間 令和元年度</p> <p>(4) 事業主体 (公社)宮崎県畜産協会、県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>①農場における野生動物侵入防止柵の設置支援 ※補助率 県1/3、(別途、国1/2) 600,000千円</p> <p>②交差汚染しない更衣室(コンテナハウス等)の設置支援 ※補助率 県1/2 75,000千円</p> <p>③協会推進事務費 3,500千円</p> <p>④県外導入豚検査及び電殺機整備 9,301千円</p> <p>⑤野生イノシシ対策 2,000千円</p> <p>⑥水際防疫対策 8,765千円</p> <p>⑦県産豚肉消費拡大対策 3,206千円</p> <p>3 事業効果</p> <p>肉製品の持込み防止や防護柵設置率を向上させることで、アフリカ豚コレラ及び豚コレラの侵入リスクを低減し、養豚経営の安定化を図る。</p>				

アフリカ豚コレラ等緊急総合対策事業

これまでの防疫対策

農場防疫

- 全戸巡回による衛生指導
- 食品残渣利用農場における感染防止指導
- 野生イノシシの監視
 - ・死亡イノシシの検査
 - ・捕獲イノシシの抗体検査

地域防疫

- 防災メールでの情報発信
- 通知文等の発出、研修会等の開催
- 公共施設での廃棄物処理管理等による野生動物への感染防止
- メディアを活用した県民への理解促進

水際防疫

- 動物検疫所との連携
 - ・空港での啓発チラシの配布
 - ・検疫探知犬による検疫活動
- 民間企業との連携
 - ・空港ビル内での靴底消毒
 - ・カーフェリーでの靴底消毒
 - ・海外への渡航者等に対する啓発

万一の防疫措置

- 初動防疫対策
- 机上演習の実施等

その他の関連施策

- 有害鳥獣捕獲対策
 - ・イノシシ捕獲に係る経費の支援
 - ・捕獲民導入への支援

緊急対策（アフリカ豚コレラ等緊急総合対策事業 701,772千円）

農場防疫・万一の防疫措置

農場防疫対策 689,801千円

- 農場における野生動物侵入防止柵の設置
 - ・防護柵設置に係る費用の補助
600,000千円（補助率：1/3）
※別途 国：1/2補助



- 交差汚染しない更衣室の設置
 - ・コンテナハウス等の設置補助
75,000千円（補助率：1/2）



- 協会推進事務費 3,500千円

- 県外導入豚検査及び電殺機整備 9,301千円

- 野生イノシシ対策 2,000千円
 - ・県猟友会への捕獲イノシシの採材委託
 - ・家畜保健衛生所による検査

水際防疫・地域防疫

- 水際防疫対策 8,765千円
 - ・法人協やワンストップセンターを通じた外国人労働者への啓発
 - ・県内の大学を通じた留学生等への啓発
 - ・空港、港湾における水際防疫強化
 - ・宿泊施設等における消毒体制強化

理解醸成

- 県産豚肉消費拡大対策 3,206千円
 - ・県産豚肉の消費拡大キャンペーン
 - ・豚肉の流通に関する正しい知識の普及

アジアにおけるアフリカ豚コレラの発生状況



2019年10月8日現在



豚コレラの発生状況

令和元年10月8日現在



発生事例数

45例(79農場、4と畜場) 144,230頭

岐阜県22例

愛知県16例

関連 長野県、大阪府
滋賀県、岐阜県

三重県 1例

福井県 2例

埼玉県 2例

関連 山梨県

長野県 2例